



**郡山市**

(平成17年9月1日現在)

- 市制施行 大正13年
- 人口 33万9437人
- 世帯数 12万7423世帯
- 面積 757.06 km<sup>2</sup>

【特産品】郡山産米「あさか舞」、鯉、張子人形 湖南高原そば、布引高原大根、梨、清酒  
 【主な出身者】西田敏行(俳優)、市川昭介(作曲家)、本田武史(フィギュアスケート)

**東北を代表する中核都市郡山市**

郡山市は、東に阿武隈山系、北には、奥羽山脈の秀峰・安達太良山を望み、また、全国第4位の面積を誇る猪苗代湖に面し阿武隈川を擁するなど、水と緑の豊かな自然に恵まれています。また、地理的条件の良さから、東北新幹線や東北・磐越自動車道、さらには福島空港へのアクセス道などが行き交う交通の要衝となり、人・物・情報の交流拠点として東北の表玄関、また、福島県内の経済を支える経済泉都とも呼ばれ、平成9年には、東北地方では初めて秋田市とともに中核市に移行し、常に地域をリードしてきました。

現在は、郡山市は東北を代表する有数の都市として、「水と緑がきらめく未来都市郡山」を将来都市像に掲げ、景観や環境に配慮した新世紀に躍進する都市づくりを進めています。



安積疏水による猪苗代湖の水、肥よくな土壌、恵まれた気候により、米の生産量は、全国の市の中で第5位。食味も「特A」の高い評価を受けています



高柴の張子人形は、東北ならではの郷土玩具。元禄時代に誕生し約300年の伝統を誇る郡山を代表する工芸品です



郡山うねめまつりは、「うねめ伝説」にちなんだ郡山を代表する祭り。6000人を超える踊り手と、移動式では日本一の太鼓が繰り出します



安積開拓の地に区会所(郡役所の前身)として建てられた開成館

**安積開拓事業**

明治時代のはじめ、国営事業第1号の工事として、当時、不毛の地であった安積原野に猪苗代湖から、かんがい用水を引き、農地整備などが進められた。全国の9藩(二本松、棚倉、会津、米沢、岡山、鳥取、土佐、松山、久留米)から約2000人が郡山に移住し、旧鳥取藩士たちは、広谷原(現在の郡山市喜久田町)と呼ばれる原野の一部、約260町歩(260畝)の土地に入植した。

**さらなる友好に向け  
姉妹都市締結へ**

このことがきっかけとなり、鳥取から郡山に移住した子孫のみなさんによる鳥取市への訪問やライオンズクラブの訪問やライオンズクラブ同士の友好クラブ提携、今年2月に開催したやまびこ館での郡山開拓移住展、また、6月5日(日)には、両市のライオンズクラブにより、用瀬町の千代石を使った鳥取士族の顕彰碑が郡山の宇倍神社に建立されるなど、市民を中心とした交流が広がり、両市の関係は深まっています。

8月24日(水)、郡山市の小

針貞吉助役と柳沼隆夫副議長が鳥取市を訪れ、竹内功市長に姉妹都市提携の申し入れを行いました。その後、姉妹都市提携に向けた調整が進み、9月市議会定例会で郡山市との姉妹都市提携の締結が了承されました。そして、11月25日(金)午後1時から、両市各会場で盟約式が行われます。



郡山市の宇倍神社に建立された顕彰碑には、両市の友好が永遠に続くよう、国府町宇倍神社金田宮司により「ふるさとの石永劫(えいごう)の絆(きずな)を」と記されたブロンズ板が設置されています。

**鳥取市の姉妹都市が  
6都市へ**

- 【国内】 北海道釧路市 兵庫県姫路市 山口県岩国市 福島県郡山市
- 【国外】 韓国 清州市 ドイツ ハーナウ市

**姉妹都市提携  
盟約式**

とき 11月25日(金) 後1時  
ところ 仁風閣 2階 謁見所

盟約式では、姉妹都市提携宣言、両市の交流促進に尽くされたみなさんへの感謝状の贈呈のほか、両市長による対談がテレビ会議システムで行われます。

問い合わせ先  
市役所本庁舎企画調整課都市交流室  
☎(0857) 20131  
54